

利用の手引き



浜松市かわな野外活動センター

令和5年4月改訂

目次

ページ	内 容	ページ	内 容
01	<u>I 概要</u>	25	<u>V 緊急時について</u>
	1 設置の目的		1 緊急連絡先
	2 設置の沿革		2 緊急車両
	3 役割		3 地震防災組織図作成
	4 位置・自然環境	26	4 救急医療機関
02	5 センターまでの道のり	27	5 避難経路図
03	6 バス駐車場からの道のり		
04	7 施設配置図	28	<u>VI センターでの生活について</u>
05	8 施設について		1 少年自然の家
	(1) 少年自然の家		(1) 食事
06	(2) キャンプ場	29	(2) 入浴
			(3) 就寝
08	<u>II 利用にあたって</u>	30	(4) 清掃
	1 利用できる団体	33	2 キャンプ場
	2 利用の制限		(1) 利用期間
	3 休所日		(2) テントについて
09	<u>III 利用の流れ</u>	34	(3) 炊飯棟について
	1 受付日について	35	(4) 山荘について
	(1) 本年度に利用希望の場合		(5) シャワー棟について
	(2) 翌年度に利用希望の場合		(6) 退営時の留意事項
10	2 申し込みの手順	36	<u>VII ごみの処理</u>
13	3 利用の仕方		
16	<u>IV 活動プログラム</u>	37	<u>VIII 提出物</u>
	1 プログラム立案上のお願い		1 物品注文書
18	2 基本的なプログラム	39	2 物品借用書
20	3 各種活動紹介		3 利用人数確認表
22	4 持ち物		
	5 服装		
24	6 無事活動を終えるために…	別紙	<u>IX 利用料金表</u>



I 浜松市かわな野外活動センター 概要

1 設置の目的

自然の中での共同生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の健康の増進を図るため設置された社会教育施設です。

浜松市かわな野外活動センター条例より

2 設置の沿革

「浜松市第2次総合計画基本計画」及び「西遠地区広域市町村圏計画」に基づき、設置されました。

昭和60年	7月6日	野営施設…キャンプ場	開所
平成元年	4月11日	舎営施設…少年自然の家	開所

3 役割

当センターは、自然体験を中心に、日常生活では得ることができにくい体験をする機会を提供し、以下の“3つの価値”に出会わせたいと願っています。

人との出会い

友達の良さ、自分の良さ、協力の大切さを考えるきっかけに

自然との出会い

五感をはたらかせ、豊かな自然に生かされている自分に気付くきっかけに

非日常との出会い

非日常の中から生活の原点を見つめ直し、日々の生活を感じながら自分を成長させるきっかけに

4 位置・自然環境

(1) 位置 静岡県 浜松市 北区 引佐町 川名 455番地の5

北緯 34° 52' 39"

東経 137° 42' 7"

標高 約270m（本館東において）

(2) 敷地面積 280, 225, 32㎡

(3) 自然環境

当センターは通称「浦山」の標高270m～350mにあります。その敷地は、東から南斜面部分を占める標高430mの霧山と、北側の霧山国有林からなっています。

当センターから東には、観音山を背にした静岡県立観音山少年自然の家と観音山育成牧場跡が見えます。また、南東には滝沢山、南西には三岳山を望むことができます。霧山の頂上付近に登ると、北東に富士山を、南西に奥浜名湖を、さらに眼下にはかわな野外活動センター周辺を眺望することができます。

豊かな自然林に囲まれた当センターには、貴重な植物や小動物たちが生息しています。



いなさGC浜松コース

いなさ湖

いなさ野外活動センター

第1 P

第2 P

白い看板あり!!

ゴルフ場の看板を目印に坂を登ります!!

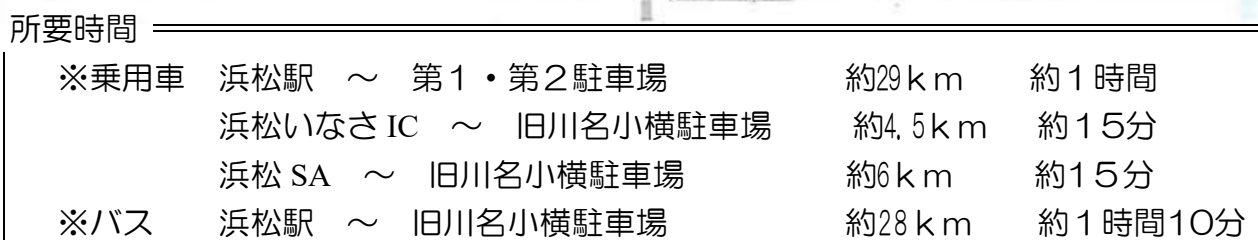
都田 浜北方面→

引佐川

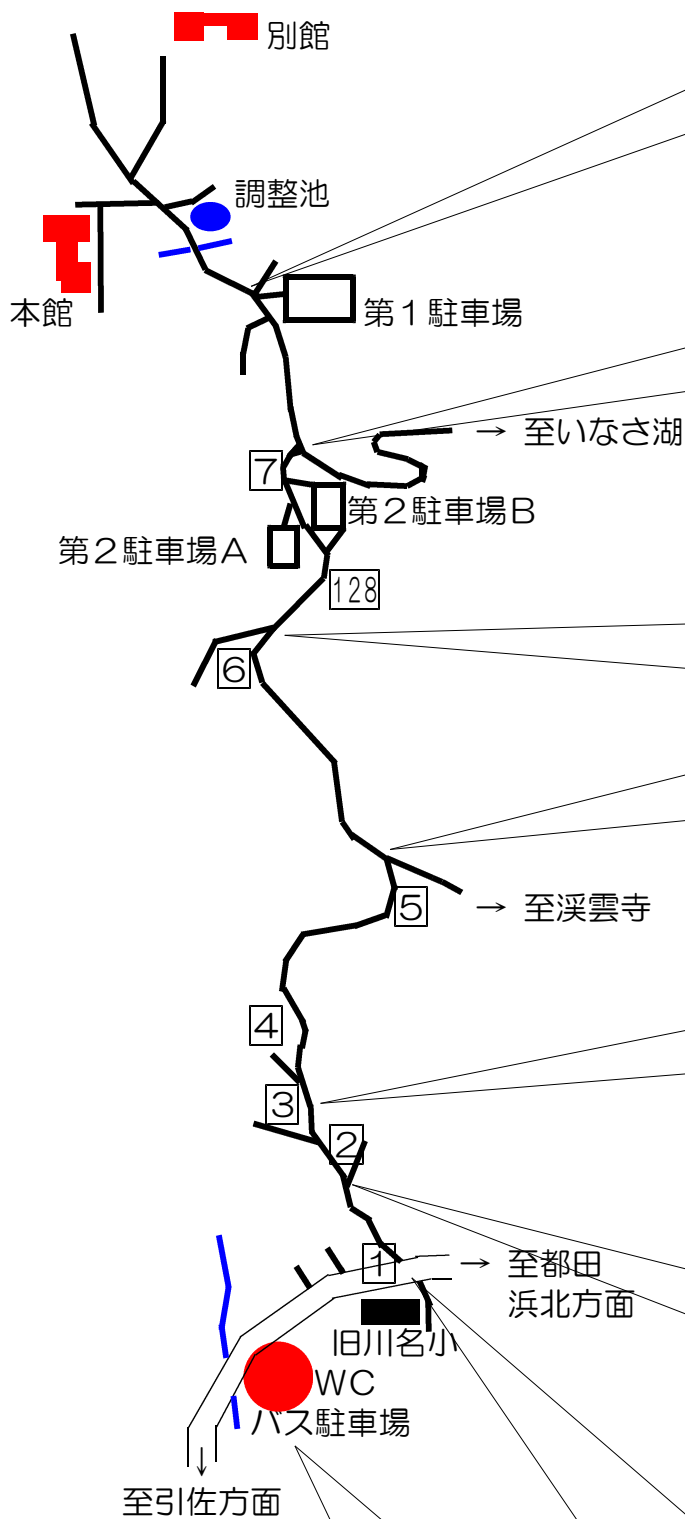
68

細江 引佐方面

周辺拡大図



6 バス駐車場からの道のり（徒歩）



ふれあい門を
左へ進めば到着



看板7の分岐を
左へ



看板6の分岐を
右へ



看板5の分岐を
左へ



看板4の分岐も
右へ
看板3の分岐を
右へ



看板2の分岐を
左へ



バス駐車場には
トイレもあります



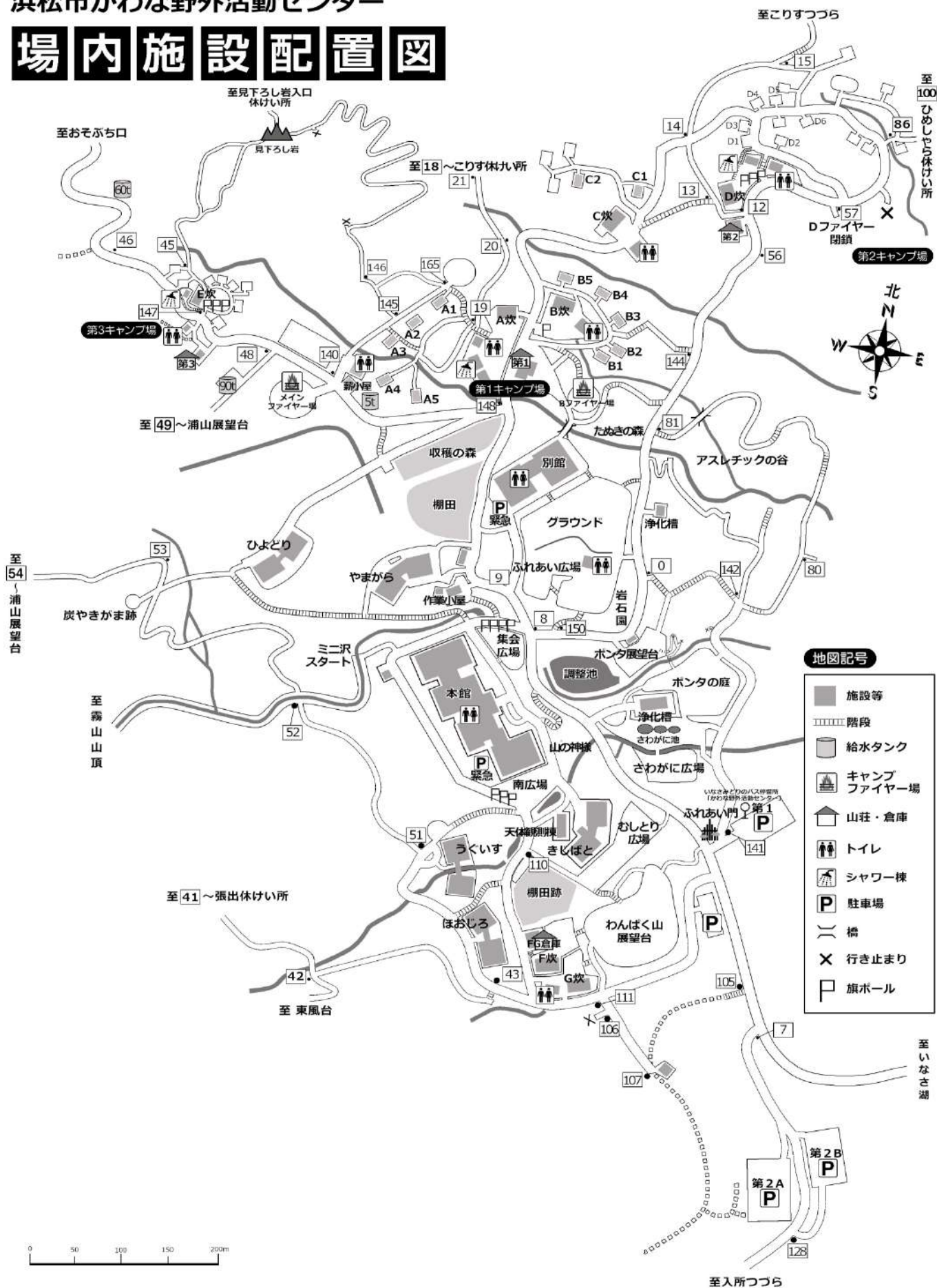
横断歩道を渡ります



つづら入口は
丸太看板が目印

《所要時間》
約 2 k m
登り30分
下り20分

7 場内施設配置図



8 施設について

(1) 少年自然の家

施設名	施設内容	収容人数 他
本館棟(管理棟) 	オリエンテーションホール リネン室 洗面所 食堂 厨房 浴室 宿直室 トイレ 医務室 会議室 事務室 ボイラー室 体育室 倉庫 指導者室 →ミーティングルーム →指導者用宿泊室×2	約50人迄収容 149人 男女とも…蛇口×9・シャワー×3 多目的トイレ×3 ベット×2 テーブル・チェアー×16人 AED 約200人収容可 宿泊可能人数 各4人×2=8人
宿泊棟×5 ◇ひよどり ◇やまがら ◇うぐいす ◇ほおじろ ◇きじばと	宿泊棟1棟につき ・宿泊室×2 ・スタッフルーム×2 ・倉庫×2 ・洗面所×2 ・トイレ×2 ・機械室(床暖房用)×2	宿泊室 布団18セット×2 36セット スタッフルーム 布団1セット×2 2セット 各宿泊棟36人×5棟=180人 ※きじばとには、多目的トイレが完備
炊飯棟	F炊飯棟 G炊飯棟 炊飯棟1棟につき かまど(利用者用)×9 かまど(煮沸用)×1 トイレ ガーデンテーブル F棟×12 G棟×10	1かまどにつき6~7人使用可 テーブル1セットにつき約4人着座可
ファイヤー場	メインファイヤー場	神のいす×1 松いす1席につき3人着座可×約120 (推奨2人)=最大約360人 ※電源装置:有り 照明装置:有り 消火栓:有り
広場	南広場	約300人迄収容 旗ポール3本
	集会広場	約150人迄収容 旗ポール4本
展望台	わんぱく山展望台	ガーデンテーブル×6
	ポインタ展望台(ポインタの庭含)	ガーデンテーブル×12

(2) キャンプ場

施設名	施設内容	収容人数 他
別館	多目的ホール小（手前） 多目的ホール大（奥） トイレ 会議室 和室（6畳）×2 医務室 シャワー室（男女兼用） 倉庫	AED インターホン 多目的トイレ×1 クラフト室兼用 宿泊可能人数 各2人×2＝8人 ベッド×2
第1キャンプ場	Aサイト 常設テント×5張り A炊飯棟×1 ガーデンテーブル×10 トイレ 広場 シャワー棟（男女別）	1張りにつき6人×5張り＝30人  旗ポール無し
	Bサイト 常設テント×5張り B炊飯棟×1 ガーデンテーブル×10 トイレ 広場 第1山荘 Bファイヤー場	1張りにつき6人×5張り＝30人 旗ポール1本 指導者用2人 インターホン 神のいす×1 松いす1席につき3人着座可×80 （推奨2人）＝最大240人 ※電源装置：有り 照明装置：有り 消火栓：有り
	Cサイト 常設テント×2張り C炊飯棟×1 ガーデンテーブル×10 トイレ 広場無し	1張りにつき人6人×2張り＝12人
第2キャンプ場	Dサイト テントサイト×(6)カ所 D炊飯棟×1 ガーデンテーブル×12 トイレ 広場 シャワー棟（男女兼用） 第2山荘	 旗ポール2本 指導者用2人 インターホン

第3キャンプ場	Eサイト E炊飯棟×1 ガーデンテーブル×8 トイレ 広場 第3山荘	旗ポール3本 指導者用2人 インターホン 
広場	グラウンド	約400人迄収容 旗ポール無し 丸太いす×1 松いす×4
	ふれあい広場	約100人迄収容 旗ポール無し 松いす1席につき3人着座可×約30 ＝最大約100人 ガーデンテーブル×19

※炊飯棟について

- ・センター内には炊飯棟が7棟（A B C D E F G）あります。
- ・どの炊飯棟も同じ広さ、同じかまど数です。
- ・1かまどにつき6～7人使用可と表記していますが、雨天時に炊飯棟内で食事することを考慮すると最大40人までが適正人数です。

Ⅱ 利用にあたって

1 利用できる団体

10名以上で当センターの教育活動プログラムを利用する団体

- (1) 当センターの設置目的と規則に沿って活動できる方
- (2) 成人又は青年の引率責任者がいる団体・グループ
※18歳未満の利用には、成人の引率者が必要です。
- (3) 宿泊の利用団体に支障がない範囲内であれば、日帰り利用も可能

2 利用の制限 ～禁止事項～

- (1) 特定の政党を支持し、またはこれに反対するための政治教育その他の政治的活動をするための利用
- (2) 特定の宗教を支持し、またはこれに反対するための宗教教育その他の宗教的活動をするための利用

(1) と (2) には、施設内外で当該活動を行うことや、他の利用者や第三者を勧誘したり、自らの団体の活動をアピールする活動等も含まれます。

- (3) 専ら営利を目的とする活動のための利用

施設内外で物品等の契約や販売を行うこと、およびそのための説明会を開催することも含みます。

- (4) 当センターの設置目的に反した活動での利用、他の利用団体の活動への妨げになる利用

※飲酒に関して…P. 16参照

3 休所日

- 毎週月曜日。ただし、7月1日～9月30日は、休所日なし。
- 年末年始：12月29日～1月3日
- 施設・設備や活動場所等の点検・整備を行う日
- ※ただし、上記休所日でも利用がある場合は休所しません。

Ⅲ 利用の流れ

※浜松市・湖西市と左記市外で流れが分かります。

1 受付日について

(1) 本年度に利用希望の場合

浜松市・湖西市 …利用月の6ヶ月前の初日から40日前まで

浜松市・湖西市外…利用月の4ヶ月前の初日から40日前まで

※ ただし、利用月の6ヶ月前（4ヶ月前）の初日が休所日の場合は、翌開所日。

(2) 翌年度に利用希望の場合

① 先行申請

※浜松市・湖西市の園・学校を優先し、次に左記市外の園・学校を受け入れます。

6月 当センターから「利用希望調査」を、次の園・学校の皆様へ、送付します。
○過去、利用実績のある園・学校
○過去、利用実績がない場合でも、事前に先行受付を希望された園・学校

7月 送付された全ての園・学校様は、「利用希望調査」に必要事項を記入した上で、期日までに当センターへ返送してください。

8月 当センターが回収した「利用希望調査」を基に、利用目的や利用対象、利用人数、利用日数等を勘案しながら希望日程を調整します。

10月以降 当センターから「内定通知」にて、結果を送付します。

② 通常申請

実施希望日	浜松市・湖西市		左記市外	
	申請開始 利用月の6ヶ月前～40日前まで		申請開始 利用月の4ヶ月前～40日前まで	
翌年度 4月	今年度	10月1日～	今年度	12月1日～
5月		11月1日～		1月1日～
6月		12月1日～		2月1日～
7月		1月1日～		3月1日～
8月		2月1日～	翌年度	4月1日～
9月		3月1日～		5月1日～
10月	翌年度	4月1日～		6月1日～
11月		5月1日～		7月1日～
12月		6月1日～		8月1日～
1月		7月1日～		9月1日～
2月		8月1日～		10月1日～
3月		9月1日～		11月1日～

2 申し込みの手順



(1) 問い合わせ

空き状況の確認
利用の申し込み

浜松市かなな野外活動センター
TEL 053-544-0219



- ①電話やHP、または事務室窓口で空き状況を確認してください。
- ②日程に空きがあれば、お電話にて申し込んでください。
- ③仮予約は行っていません。実施が確定した段階で、申し込みをしてください。
- ④申し込み受付時間は、8:30～17:15です。
- ⑤受付の際は、次のことを確認します。

- ☐ 団体名
- ☐ 団体の概要（設置目的、事業内容など）
- ☐ 利用の目的
- ☐ 利用期間
- ☐ 利用予定人数（男女の内訳、引率者と参加者の内訳、年齢構成）
- ☐ 希望する宿泊形態（少年自然の家・キャンプ場）
- ☐ 主な活動内容
- ☐ 連絡担当者氏名
- ☐ 連絡先住所、電話番号、FAX番号など

- ⑥当センターから届く、「利用許可申請書」を受け取ってください。



(2) 利用許可申請書

記入～提出

浜松市かなな野外活動センター
〒431-2202

静岡県浜松市北区引佐町川名
455番地の5



- ①「利用許可申請書」に、以下に示す必要事項を記入して、当センターに郵送で送付してください。

- ☐ 記入日
- ☐ 申請者（住所、団体名、氏名、電話番号）
- ☐ 利用目的（適する箇所を○で囲んでください）
- ☐ 利用者区分（適する箇所を○で囲んでください）
- ☐ 利用日時（キャンプ場・少年自然の家のどちらかに記入、日帰りを○で囲むか○泊○日に記入）
- ☐ 利用者種別及び人数

- ②複写になっている2枚とも送付してください。

(3) 受付の完了

利用許可書交付

- ①当センターが「利用許可申請書」が提出されたこと、書類の内容に不備がないかなどを確認します。
- ②「利用許可書」を交付します。
- ③当センターから届く「利用許可書」を受け取り、大切に保管してください。
- ④「利用許可書」は利用日の受付で提出していただきます。



(4) 事前打ち合わせ

所要時間（目安）
日 帰 り…1時間

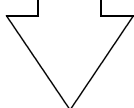
1泊2日…1～2時間
2泊3日…2～3時間

下見調査（随時）

浜松市かな野外活動センター
TEL 053-544-0219

浜松市かな野外活動センター
FAX 053-544-0210
E-mail
kawana@hamamatsu-sports.or.jp

浜松市かな野外活動センター
TEL 053-544-0219



- ①当日の活動を充実させるとともに、安全に実施するため、活動場所の下見と当センターの所員との打ち合わせを行います。
- ②打ち合わせ日は、事前の電話予約が必要です。

打ち合わせの期日
→利用予定日の約40日前まで



※ ただし、初めて利用する団体様は、早めに打ち合わせをすることをお勧めします。

- ③打ち合わせ日の1週間前までに、活動プログラム案を郵送またはFAX、メールで送付してください。当センターで検討して打ち合わせに備えます。
※園・学校利用の際、重なっている園・学校がある場合は相互に連絡を取り合い、調整をお願いしています。

- ④打ち合わせの主な内容

- ☐利用者の安全と命を守るためのお願い
- ☐活動プログラムの調整
- ☐提出物について
- ☐重なっている団体がある場合、団体間の調整

- ⑤打ち合わせ終了後、指導者全員で共通理解を図ると共に、必ず参加者にも打ち合わせ内容を伝達してください。
- ⑥下見調査にも、事前の電話予約が必要です。

(5) 書類の提出

浜松市かな野外活動センター
〒431-2202
静岡県浜松市北区引佐町川名
455番地の5
FAX 053-544-0210

エムシーフードサービス
〒435-0045
静岡県浜松市中区細島町
10番4号
FAX 053-411-6213

- 打ち合わせで渡された各種書類を提出してください。
期日…利用日の3週間前まで → () 月 () 日
方法…郵送またはFAX、メール

浜松市かな野外活動センターへ

- ☐活動プログラム（清書版）
- ☐物品注文書
- ☐物品借用書



食堂（エムシーフードサービス本社）へ

- ☐食物アレルギーアンケート（郵送）
- ☐食事関係予約申込書（FAX可）



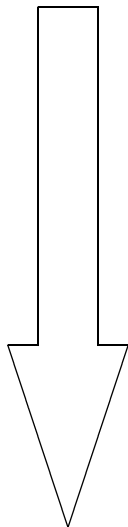
(6) 変更等の連絡

浜松市かな野外活動センター
TEL 053-544-0219
FAX 053-544-0210

エムシーフードサービス
〈食 堂〉TEL&FAX 053-544-0432
〈不通時〉TEL 053-411-6133

- 利用中止や変更が生じた場合、速やかにご連絡ください。

- 利用人数・活動内容の変更
 - 利用の中止・利用期日の変更
 - 食事関係の変更
 - 食物アレルギーへの対応・相談
- ※浜松市かな野外活動センターへまずは電話で
※エムシーフードサービスへまずは電話で



食事の種類	項 目	受付期限
食堂食	新規の注文	利用開始日の 3週間前の16時まで
野外炊飯 弁当	注文数の 追加・削減	利用開始日の 4日前の16時まで ※土日祝の場合は 平日に繰り上げ

※ 食事の注文をすべてキャンセルするときは、
利用開始日の2週間前までに連絡してください。

(7) 利用当日～受付



- ①受付は入所式の30分前までに、本館事務室へお越しください。
- ②以下の書類を提出してください。

- ☐利用許可書
- ☐利用人数確認表
- ☐宿泊者名簿（しおり）



※お支払いについて

- ・受付時にお支払い方法（現金または振込）をお伝えください。
- ・退所日に料金計算書や請求書をお渡しします。

※宿泊者名簿について

- ・宿泊場所ごとに作成してください。

下見調査実施のお願い

※指導者全員で下見調査を行い、安全無事を目指しましょう。

重要!

1 タイミング

- ①プログラム立案前… プログラムを立案するため、対象年齢や活動に必要な時間を把握しましょう。活動に無理がないかが分かります。
- ②プログラム立案後… 危険箇所の確認と指導者の立つポイントを実際参加者の視点に立って調査しましょう。安全への対策を講じられます。

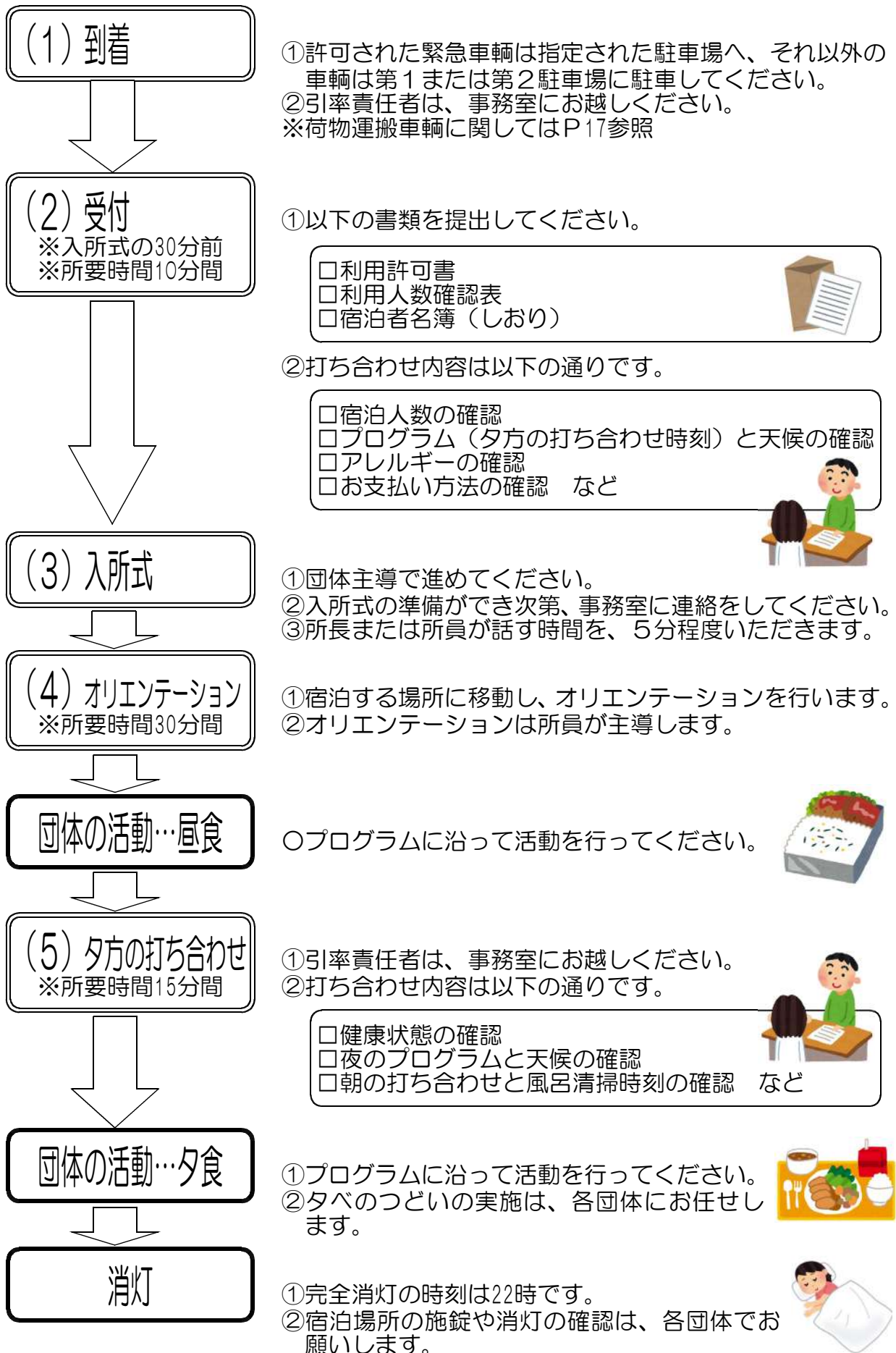
2 方法

- ①当センターに電話（053-544-0219）し、希望日を予約してください。随時受け付けています。
- ②下見当日、必要であれば地図をお渡しします。



3 利用の仕方

《入所日（到着日）の流れ》



《滞在中の流れ》

起床



(1) 清掃

○以下の場所を清掃してください。

- ☐ 宿泊した場所
- ☐ トイレ・玄関 など
- ☒ 本館風呂…詳細は事前打ち合わせで説明します。



(2) 朝の打ち合わせ
※所要時間15分間

- ①引率責任者は、事務室にお越しください。
- ②打ち合わせ内容は以下の通りです。

- ☐ 健康状態の確認
- ☐ 本日のプログラムと天候の確認
- ☐ 夕の打ち合わせ時刻の確認 など



③朝のつどいの実施は、各団体にお任せします。

団体の活動…朝・昼食

○プログラムに沿って、活動を行ってください。



(3) 夕方の打ち合わせ
※所要時間15分間

- ①引率責任者は、事務室にお越しください。
- ②打ち合わせ内容は以下の通りです。

- ☐ 健康状態の確認
- ☐ 夜のプログラムと天候の確認
- ☐ 朝の打ち合わせと風呂清掃時刻の確認 など
- ☆出発日前日に「会計計算書」をお渡しします。



団体の活動…夕食

- ①プログラムに沿って活動を行ってください。
- ②夕べのつどいの実施は、各団体にお任せします。



消灯

- ①完全消灯の時刻は22時です。
- ②宿泊場所の施錠や消灯の確認は、各団体をお願いします。



《退所日（出発日）の流れ》

起床



(1) 清掃

①以下の場所を清掃してください。

- ☐ 宿泊した場所
- ☐ 玄関など
- ☒ 本館風呂…詳細は事前打ち合わせで説明します。



②清掃で出たごみは、袋に入れて本館風呂場前のポリバケツに処分してください。

(2) 朝の打ち合わせ
※所要時間15分間

①引率責任者は、事務室にお越しください。
②打ち合わせ内容は以下の通りです。

- ☐ 健康状態の確認
- ☐ 本日のプログラムと天候の確認
- ☐ 修正した「会計計算書」の提出 など



③朝のつどいの実施は、各団体にお任せします。

(3) リネン返却～退室

①リネンを本館リネン室に返却してください。
②リネンの返却の仕方は、到着日のオリエンテーションでお伝えします。
③午前8時迄に、全ての荷物を事前に指定した場所へ運んでください。
スタッフルームの荷物も同様です。



団体の活動…朝・昼食

○プログラムに沿って活動を行ってください。



(4) 退所の手続き

①退所される前までに、引率責任者は事務室にお越しください。
②「アンケート」を提出してください。
③提出していただいた「会計計算書」に基づき、「請求書」を発行し、お渡しします。
→現金払いの場合、このタイミングで精算してください。



(5) 退所式

①団体主導で進めてください。
②退所式の準備ができ次第、事務室に連絡をしてください。
③所長または所員が話す時間を、5分程度いただきます。

出発

○所員がお見送りします。
またお会いしましょう！



IV 活動プログラム

1 プログラム立案上のお願い



(1) ねらい・目的

- ① 当センターは、各団体が掲げるねらい・目的が、本書1ページ目に記載されている「設置目的」や「役割」を踏まえた内容になることを望んでいます。
- ② 当センターは、実施される各種活動が、各団体が掲げるねらい・目的の「手だて」になることを、望んでいます。
例「沢登りをしたい。」→「沢登りを通して、森のはたらきを学ばせたい。」

(2) 約束

重要!

- ① 団体責任者とスタッフ全員が「利用の手引き」「『いざ』という時のために」を読み取り、規則や使用上の留意点などを守って安全に配慮してください。
※救急車の要請は、原則団体が判断し、行ってください。
- ② 施設や用具の使用方法是正しくお使いください。
- ③ 入所から退所まで、禁酒です。
- ④ 火気厳禁です。ただし電池式照明は使用できます。
※火気とは … □ろうそく □ランプ □蚊取り線香 □花火 など
- ⑤ ボールを使った活動・遊びはできません。
- ⑥ 室内では縄跳びをしたりテープを貼ったりするような、床を傷つける恐れがある活動はできません。
- ⑦ 利用条件に違反する行為をした場合、その他管理上支障があると認めた場合、当施設の利用を遠慮していただきます。

(3) 決まっている時刻

- ① 活動時間 … 6:00～22:00
- ② 食堂利用時間 … 朝食 8:00～9:00
昼食 12:00～13:00
夕食 17:00～18:00



- ※食堂を利用する場合、上記時刻に影響しないよう留意して、活動を計画してください。なお、お弁当を利用する場合、この限りではありません。
- ③ 入浴時間 … 原則 18:00～21:30

(4) 持ち込みの荷物・品物について

食品について

- ① 飲食物の持ち込みは、御遠慮ください。ただし、入所日の昼食については、この限りではありません。
- ② 当センターが設定した炊飯メニュー以外を希望する場合
→ 事前打ち合わせ時に、担当者へ連絡してください。
→ 所長の許可を得た後、必要な食材のすべてを食堂に発注していただくことになります。

ごみの処理について

- ① 食堂で購入した食材の生ごみや包装ビニールなどは、食堂が引き取ります。
- ② ①以外の持ち込んで出たごみは、お持ち帰りください。
- ③ 活動で使用して出た紙、ビニール、段ボールなどのごみも②同様お持ち帰りください。

(5) 来場方法と入場できる車輛について

来場方法

①バスを利用する場合

- ・旧川名小学校西側「かわなバス駐車場」で乗降してください。
- ・荷物を背負い、「入所つづら」を歩いて入所してください。

※所要時間…登り約30分間 下り約20分間

②普通乗用車に分乗して来所する場合

- ・第1・2駐車場で乗降してください。
- ・荷物を背負い、歩いて入所してください。

※所要時間…約5分間

※第1・2駐車場までの道は大変狭いです。そのため、普通乗用車同士でもすれ違いが困難な区間がほとんどです。業者や地元の方の通行もあります。また、ウォークラリーの活動コースにもなっています。子どもたちや対向車に十分御注意いただき、進行してください。尚、普通車の台数が多い場合には、事前打ち合わせ時に申し出てください。同日利用団体と調整を行います。駐車場係は団体で御準備ください。



入場できる車輛（緊急車輛・荷物搬入車輛・一般車輛）について

①緊急車輛

- ・各団体1台のみ所定の場所に駐車できます。
- ・場内は最徐行でお願いします。
- ・事前打ち合わせでお渡しする「緊急車輛表示」を、場内に進入する際（ふれあい門進入時から）運転席前部に提示してください。
- ・お帰りの際もふれあい門までは「緊急車輛表示」を提示していただき、通過後に各団体で破棄してください。

②荷物搬入車輛

- ・事前打ち合わせ時、申請してください。
- ・入所時の受付時、事務室で搬入時刻を確認し合います。
- ・運搬前、「荷物運搬車」証をお渡しします。事務室にお越しく下さい。
- ・運搬後、「荷物運搬車」証を返却願います。事務室に返却してください。
- ・車輛は第1・2駐車場へ戻してください。

③一般車輛

- ・事前打ち合わせ時、おおよそ何台入場されるかを申請してください。
- ・一般車輛は第1・2駐車場に駐車してください。

(6) 活動をより一層充実させるプログラム立案のコツ

ポイント

①施設の立地条件を活かしましょう。

本書P. 20～21「3各種活動紹介」を参考に、当センターでこそ行える活動を選択したり、創造したりしましょう。

②時間に余裕をもちましょう。

移動にも時間がかかります。参加者を追い立てるよりも、指導者も参加者も心にゆとりをもち、おおらかに取り組みましょう。

③振り返りの時間を確保しましょう。

当センターでは失敗はありません。振り返りで「ほめる」「認める」ことをし、参加者の自己肯定感を高められれば、目的達成に迫ることができます。

④雨天対策もお忘れなく。

どんな天候でも自然の恩恵を感じるきっかけにしてください。雨天でもできる限り野外で活動してみてはいかがでしょうか。

⑤参加者目線を大切に。

指導者は参加者の声や思いに寄り添えと、より主体的で充実した活動になります。プログラムに反映してみてもいいでしょうか。

2 基本的なプログラム（2泊3日の例）

団体名（ かわな小学校 ）活動プログラム

担当者 川名 太郎				TEL 053-544-0219				人数 90人 (3クラス)							
宿泊棟 う・ほ・き				FAX 053-544-0210				指導者数 6人							
1日目 4月1日 (月)				2日目 4月2日 (火)				3日目 4月3日 (水)							
		活動内容		場所		雨天				活動内容		場所		雨天	
6								6	00 起床						
									30 清掃						
7								7	00 打合せ						
									30 朝の集い	南広場	体育室				
8								8	00 朝食	食堂					
9	10 受付							9	00 返納点検	FG					
	バスP到着～入所つづら														
40	入所式	南広場	体育室												
10	00 入室オリエンテーション	うほき						10	00 ウォークラリー	南広場	クラフト				
									※5hいなさ湖コース		クラフト				
45	活動①								※天候次第で1.5hWR		(ウッド)				
	ポイントハイク	南広場	レク								体育室				
11								11							
12	昼食 (持参弁当)							12							
13								13							
45	終了														
14								14							
15	00 炊飯オリエンテーション	FG						15							
30	炊飯活動スタート														
	※ワイルドカレー														
16	00 打合せ							16	00 打合せ						
									30 タベの集い	南広場	体育室				
45	食事														
17	15 片付け							17	00 夕食	食堂					
18	00 入浴							18							
19	00 活動③	集会広場	室内レク					19							
	ナイトウォーク		体育室												
	※場内コース														
20								20	00 入浴						
21	00 班長会	オリホール						21	00 班長会	オリホール					
22	00 消灯							22	00 消灯						
	本館スタッフルーム	本館会議室	山荘						本館スタッフルーム	本館会議室	山荘				
	別館会議室	別館和室	男						別館会議室	別館和室	男				
	風呂清掃		女						風呂清掃		女				
打合日	〇月〇日 (〇)	担当所員	〇〇	打合日	〇月〇日 (〇)	担当所員	〇〇	打合日	〇月〇日 (〇)	担当所員	〇〇	打合日	〇月〇日 (〇)	担当所員	〇〇

メモ

メモ

メモ

団体名（

）活動プログラム計画表

担当者				TEL				人数			
宿泊棟				FAX				指導者数			
1日目 月 日（ ）				2日目 月 日（ ）				3日目 月 日（ ）			
活動内容		場所	雨天	活動内容		場所	雨天	活動内容		場所	雨天
6				6				6			
7				7				7			
8				8				8			
9				9				9			
10				10				10			
11				11				11			
12				12				12			
13				13				13			
14				14				14			
15				15				15			
16				16				16			
17				17				17			
18				18				18			
19				19				19			
20				20				20			
21				21				21			
22				22				22			
本館スタッフルーム		本館会議室		本館スタッフルーム		本館会議室		本館スタッフルーム		本館会議室	
別館会議室		別館和室	山荘	別館会議室		別館和室	山荘	別館会議室		別館和室	山荘
風呂清掃		男	女	風呂清掃		男	女	風呂清掃		男	女
打合日	月 日（ ）	担当		打合日	月 日（ ）	担当		打合日	月 日（ ）	担当	

メモ

メモ

メモ

3 各種活動紹介 当センターでできること



野外活動

☆トレッキング活動

- ① ハイキング
- ② ウォークラリー
- ③ 冒険トレッキング
- ④ ナイトウォーク

☆自然を満喫

- ⑤ 沢登り
- ⑥ ミニ沢登り
- ⑦ 沢遊び
- ⑧ 自然観察
- ⑨ 天体観望&天文教室



☆課題に挑戦する活動

- ⑩ ポイントハイク
- ⑪ フォトロゲイニング

☆仲間と協力

- ⑫ 野外炊飯
- ⑬ 餅つき
- ⑭ キャンプファイヤー
- ⑮ キャンドルのつどい



自然体験活動

☆クラフト活動

- ① ウッドペイント
- ② うぐいす笛
- ③ 竹とんぼ
- ④ 木の実クラフト
- ⑤ ウッドクリップ
- ⑥ 絵手紙
- ⑦ すべすべストラップ
(杉板、輪切材)
- ⑧ バードコール
- ⑨ 小枝ストラップ



☆五感で感じる

- ⑩ ネイチャーゲーム
- ⑪ 木の実集め



キャリア教育

※ ~~~~~は主に主催事業で実施

☆里山体験

- ・季節行事（しめ縄飾り作り クリスマスリース作り）
- ・手作り料理（餅つき 手打ちうどん いもまんじゅう
ワイルドパン 石焼きいも）
- ・紙すきによるオリジナルはがき作り
- ・シイタケの菌打ち体験

☆昔遊び体験

- ・草笛
- ・竹馬
- ・竹ぼっくり
- ・けん玉
- ・輪投げ



環境教育

☆かわな（約900種類以上）の自然を感じる

植物

例：針葉樹（マツ ヒノキ スギ）
ツツジ（モチツツジ ヤマツツジ）
ドングリのなる木（コナラ アベマキ クヌギ アラカシ）
香りのある植物（クロモジ サンショウ）
紙すきの原料（コウゾ ミツマタ）
四季折々の草花（春の七草 秋の七草）

動物

例：沢（サワガニ）
観察池、棚田（モリアオガエル ホタル）
昆虫（チョウ トンボ セミ クワガタ カブトムシ カミキリムシ）
土の中の生物（ミミズ ダンゴムシ）

音

- ・ 鳴き声（野鳥 セミ シカ など）
- ・ サイレントタイム



森林のはたらき

- ・ 森林の生態系
- ・ 森のはたらき
- ・ 森の保水力
- ・ 水の浄化
- ・ 大気の浄化
- ・ 森林からの生産物
- ・ 広葉樹林（雑木林）と針葉樹林（植林）



水はどこからどこへ

湧き水→沢→ダム湖（いなさ湖）→川（都田川）→浄水場→家庭
浜名湖→太平洋



防災教育



☆避難所体験

- ① 常設テント宿泊体験
- ② 組立テント宿泊体験
- ③ 毛布宿泊体験
- ④ 野外炊飯体験

☆避難訓練体験

- ⑤ かわな所員との合同避難訓練
- ⑥ 抜き打ち避難訓練

通常の服装



- 1 頭
○帽子
- 2 上半身
○長袖
×半袖や腕ショート丈等
- 3 下半身
○長ズボン
×ハーフパンツや七分丈等
- 4 手
○手袋・軍手（炊飯時はゴム製を避ける）
×素手
- 5 靴下
○長い靴下
×短い靴下
- 6 靴化
○普段はいている運動靴や登山靴

×履き慣れていない靴や草履等

沢登りの服装

※詳細は『別冊1 活動プログラムガイドブック（P21）』を参照



- 1 頭
○持ち込みヘルメット
○無料貸出ヘルメット＋持参帽子
※帽子は汗吸収のために着用
- 2 上半身
○長袖＋ライフジャケット
×半袖や腕ショート丈等
- 3 下半身
※通常の服装と同じ
- 4 手
※原則何も持たない
- 5 靴下
※ズボンにかぶせるとよりよい
- 6 靴化
※通常の服装と同じ

6 無事活動を終えるために…

当センターの環境

雨の日や雨上がりには、落ち葉の上・ぬれた石・ぬれた丸太・山道や坂道など、滑りやすくなりますので、活動中に気をつけて行動してください。また、野外での服装や危険生物にも配慮してください。

事前の準備

装備チェック項目

- ☐ 帽子
- ☐ 手袋
- ☐ 長袖
- ☐ 長ズボン
- ☐ 長い靴下

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

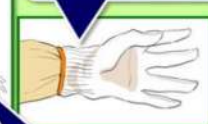


半ズボンやサンダル履きは不適当です！

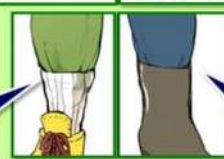
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

参照：国立感染症研究所HP

マダニ対策、今できること

検索



- ※ 所内玄関には全身を払うための「ダニクリーンブラシ」が常設してあります。
- ※ 防虫スプレーを使用するのも効果的です。

主な危険生物

ハチ オオスズメバチ等		オオスズメバチは春から秋にかけて多く見かける。強力な毒と高い攻撃性は、人間にとって非常に危険である。特に秋口は攻撃的になるので注意する。
ヘビ マムシ・ヤマカガシ等		マムシは藪に棲み、水場周辺に多く出現する。ハブより強い毒をもち、噛まれると危険である。ヤマカガシも強い毒をもつので注意する。むやみに草むらに入ると、噛まれることがあるので定められた道を歩くようにする。
マダニ		マダニは人のにおいや体温、体臭に反応して、草の上などから飛びつき吸血行為を行う。その後マダニの体が大きく膨れ上がってくる。吸血の際に病原体が入ってくるので感染症に注意する。
カマキリ		カマキリは燃える炎のような形をしており、毒性が強く触るだけでも皮膚がただれる。見かけたら絶対に触らないで、所員に知らせてください。

万が一①出会った場合

… その場を「そっと」離れましょう。

× 大声を出す × 手で振り払う × 木などで追い払う
※ 必ず所員に場所と状況の連絡する。

②被害を受けた場合

… V 緊急時について（本書P 25～26 参照）

病人・けが人等が出た場合は、すぐにセンター所員まで連絡してください。

センター所員との連絡には、電話または内線電話を活用してください。

外線 ☎053-544-0219

内線 6:00~22:00 → 事務室…11・12・13・14

22:00~ 6:00 → 宿直室…21

※ 救急車の要請は、原則団体が判断し、行ってください。また、要請した時は所員にもお知らせください。

1 緊急連絡先

浜松市かなわ野外活動センター ☎053-544-0219

警察——細江警察署(細江町) ☎053-522-0110

——伊平警察官駐在所(引佐町伊平) ☎053-544-0024

消防——北消防署(細江町三和) ☎053-527-0119

——引佐出張所(引佐町東黒田) ☎053-544-0541

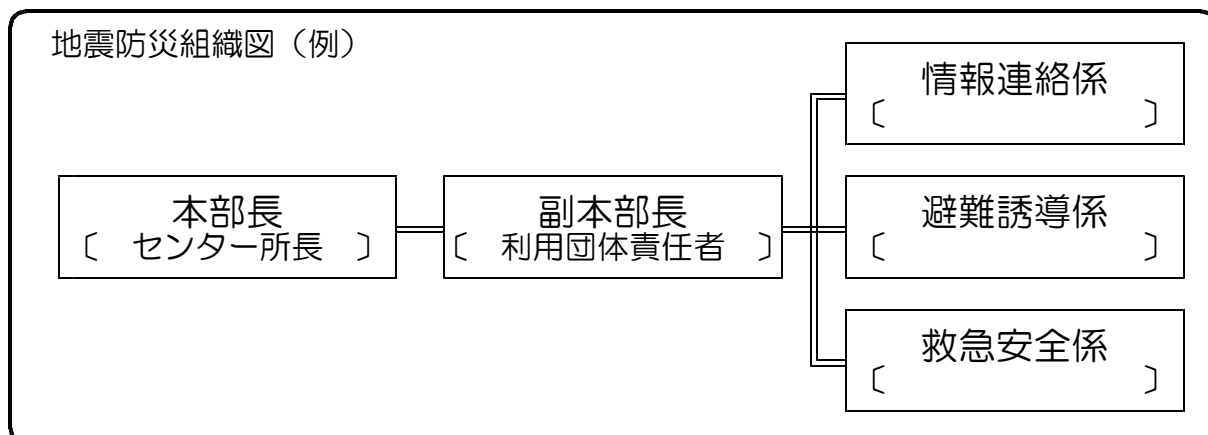
病院——聖隷三方原病院(三方原町) ☎053-436-1251

2 緊急車輛

※詳細は本書P. 17「入場できる車輛について」参照

3 地震防災組織図作成のすすめ

自然災害に備え、下記のような地震防災組織をつくり、計画書(しおり)に記載しておくことをおすすめします。



4 救急医療機関

夜間および日曜・祝日等に医療機関への受診を希望される場合、当センターの最寄りの医療機関になります。

社会福祉法人 聖隷福祉事業団

聖隷三方原病院

☎ 053-436-1251

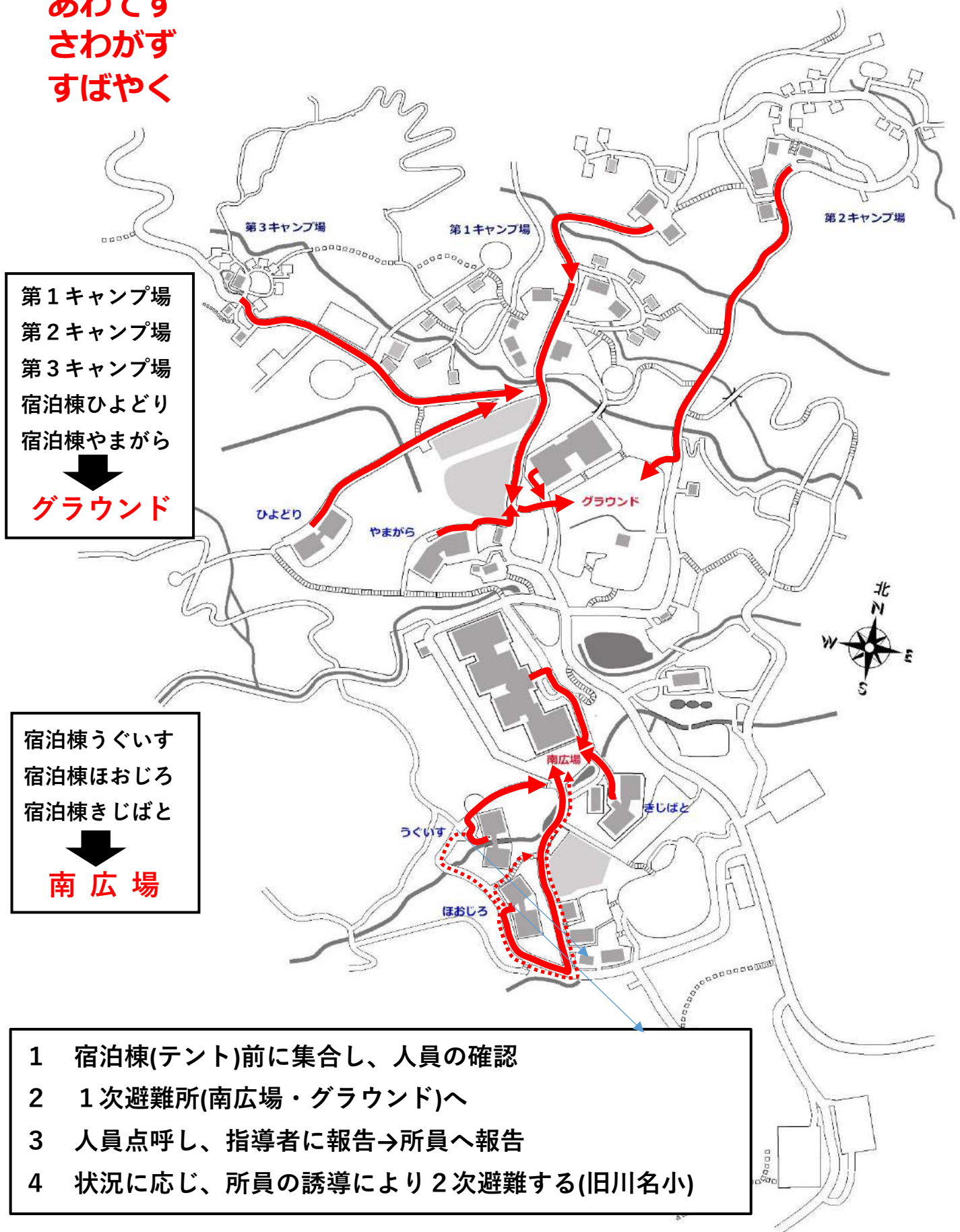
住所 浜松市北区三方原町3453



所要時間（あくまでも目安）…車で約40分間 救急車で約30分間

5 避難経路図

あわてず
さわがず
すばやく



VI センターでの生活について



1 少年自然の家

(1) 食事

※事前に座席表を基に、テーブルを割り振っておきましょう。

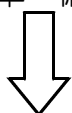
※先生方へ…アレルギー対応食を先に配膳します。

…配膳補助のためのビニール手袋は持参してください。

準備①まずトイレに行き、荷物を自分の席に置きましょう。

②手洗い場で手をきれいに洗いましょう。

③アルコール消毒をしましょう。

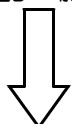


配膳④セルフサービスでカウンターから「お盆」と「おはし」を取りましょう。

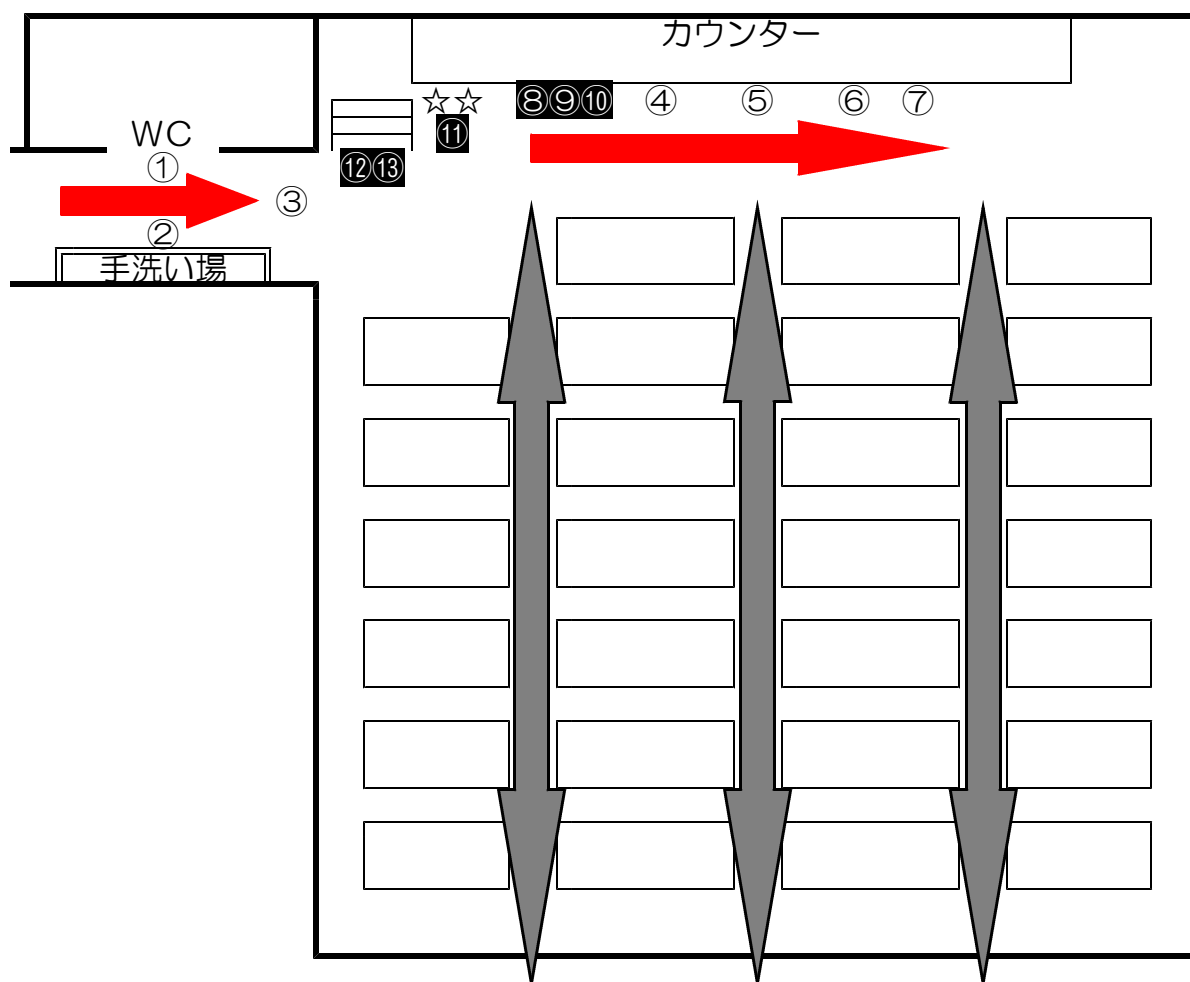
⑤セルフサービスでカウンターからおかず類を取りましょう。

⑥アレルギー対応食は専用のお盆で用意してあります。

⑦セルフサービスでカウンターからご飯や汁物を受け取りましょう。



食事○静かに食事をいただきますよう。



片付け※食器類はグループでまとめずに、個人で返しましょう。

⑧食器類をお湯がたまったシンクにやさしく返しましょう。

⑨おはしは決められたトレイに返しましょう。

⑩お盆は重ねて返しましょう。

⑪残飯やごみは、それぞれ決められた容器に入れましょう。

⑫白色の台ふきんでテーブルを水ぶきしてください。

⑬色つきの雑巾でテーブルの下を水ぶきしてください。

※テーブルの位置を整え、いすをしまってください。

※テーブルやいすのアルコール消毒をしてください。

(2) 入浴（男性用浴室・女性用浴室）



①入浴時刻

- ・原則18:00～21:30
- ・利用団体が重なっている場合、事前打ち合わせにて時間を調整します。

②入浴時間

- ・脱衣を含めて約15～20分程度です。
- ・男女別で、一度に約15名程度が利用できます。

③備え付け

- ・蛇口×9
- ・シャワー×3
- ・ボディーソープとシャンプー×4

④お願い

- ・体を洗ってから、入浴してください。
- ・脱衣室へあがる際、浴室で水分をよく拭き取ってください。
- ・ドライヤーは使用できません。
- ・腰かけ・洗いおけは、下図のように整頓してください。



- ・入浴した団体は、翌日の朝に必ず脱衣室と浴室の清掃をお願いします。
- ・脱衣室の使用後は、使用場所を消毒してください。

(3) 就寝



①就寝時刻

- ・午後10時厳守です。これ以前に消灯しても構いません。

②音楽

- ・消灯時と起床時、音楽を流してお知らせすることができます。
- タ方の打ち合わせ時、宿直担当所員に申し出てください。

③準備と片付け ※本書P. 31～32参照

- ・入室時、所員が利用者全員にオリエンテーションで詳細を説明します。
- ・シーツ類の貸出場所は、各宿泊棟です。
- ・使い終えたシーツ類について
 - 返却場所は、本館リネン室（事務室前）です。
 - 宿泊棟から本館リネン室まで運びやすいように、シーツは約3～4人分をひとまとめにくるんでください。

(4) 清掃



本館・別館…使用後直ちに行ってください。

場 所	仕 方
体育室 多目的ホール オリエンテーションホール	①床をはく ②モップがけ
食堂	※P. 28 (1)「片付け」参照
指導者室・和室 ミーティングルーム 会議室 保健室	①テーブルふき ②床をはく ③テーブル・いすの整とん ※保健室のベットを使用した場合、使用後に必ず シーツを交換してください。



風呂場…翌日、朝食前に行ってください。

場 所	仕 方
浴室	①ブラシをかける ②水で洗い流す ③腰かけ、洗いおけの整とん
脱衣室	○床をはく



宿泊棟…利用期間中、朝やチェックアウト前に行ってください。

場 所	仕 方
玄関・ポーチ・靴箱	①玄関・ポーチ…はく ②靴箱…泥ふき
部屋・廊下・階段	○床をはく
洗面所	①流しを雑巾で洗う ②水で流す ③まわりを拭いて水気をとる ④鏡に付いた汚れを拭き取る
ベランダ	①床をはく ②手すりをふく ③物干しの整とん
窓ガラス	○雑巾でからぶきをする

※各宿泊棟の倉庫にある掃除機を利用できます。

※清掃後は「退室チェックカード」に必要事項を記入し、事務室に提出してください。

ふとん し かた 『布団の敷き方』



① し ぶとん し
敷き布団を敷く。



② シーツをかける。



③ で ぶん した
はみ出た分は下に
お いて
折って入れる。



④ もうふ ひろ
毛布カバーを広げる。



⑤ もうふ い
毛布を入れる。



⑥ まくら まくら い
枕を枕カバーに入れる。



⑦ なつ
夏バージョン
まくら お かんせい
枕を置いたら完成。



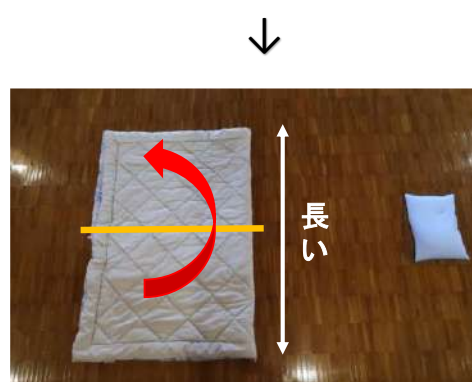
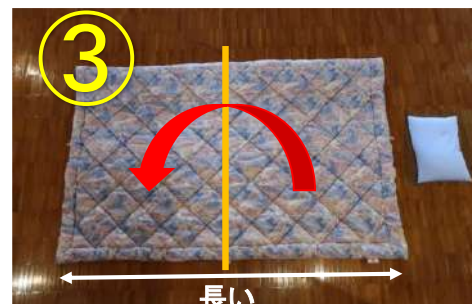
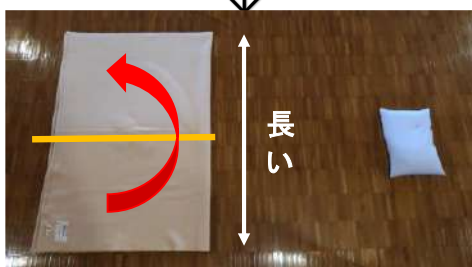
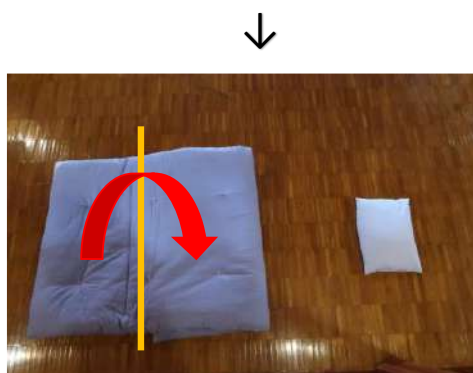
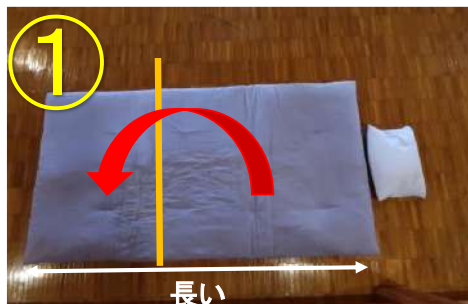
⑦ ふゆ
冬バージョン
まくら お ふとん もうふ
枕を置き、かけ布団を毛布の
うえ かんせい
上にかけたら完成。

『^{ふとん}布団の^{かた}たたみ方』

し ぶとん み お
敷き布団 (三つ折り)

もうふ や お かいお
毛布 (八つ折り: 3回折る)

ぶとん よ お かいお
かけ布団 (四つ折り: 2回折る)



※^おたたみ^{しるし}終えたら、^あシールの^{なら}印に合わせて並べてください！

2 キャンプ場



(1) 利用期間

テント泊	原則4～10月…気温による健康面を考慮して
キャンプファイヤー	4～11月第1金曜日…強風と乾燥による山火事発生を考慮して
炊飯棟（炊飯活動）	通年

(2) テントについて

種類	人数	利用方法
常設テント 	6人用	◎常設テントには、ござとほうきが常備されています。 →床にはござを敷きつめてください。 →ほうきは清掃で利用してください。 ◎組立テントにおける設営と撤収は、所員の支援が可能です。 ○寝具は、各自持参する毛布や寝袋を使用します。 ○貸出毛布及び毛布用シーツ（有料）を利用することもできます。
組立テント 	4人用	○テント内での飲食はできません。（水分補給は屋外で、雨天の場合は炊飯棟内を利用してください。） ○退所前にはテントの内外を清掃し、キャンパス・紐・ホック・ファスナーなどの破損や不良箇所を調べ、指導者は所員へ報告してください。
利用者持ち込みテント		○上記を参考に、安全に利用してください。

- 備 考
- 時期によっては、寝袋を持参されることをおすすめします。
 - テント泊は電源はもちろん、照明もありません。そのため、懐中電灯や電池式ランプなどが必要です。
 なお火気厳禁のため、ろうそくや燃料式ランタン、蚊取り線香等の使用はできません。

テント生活に慣れていない場合

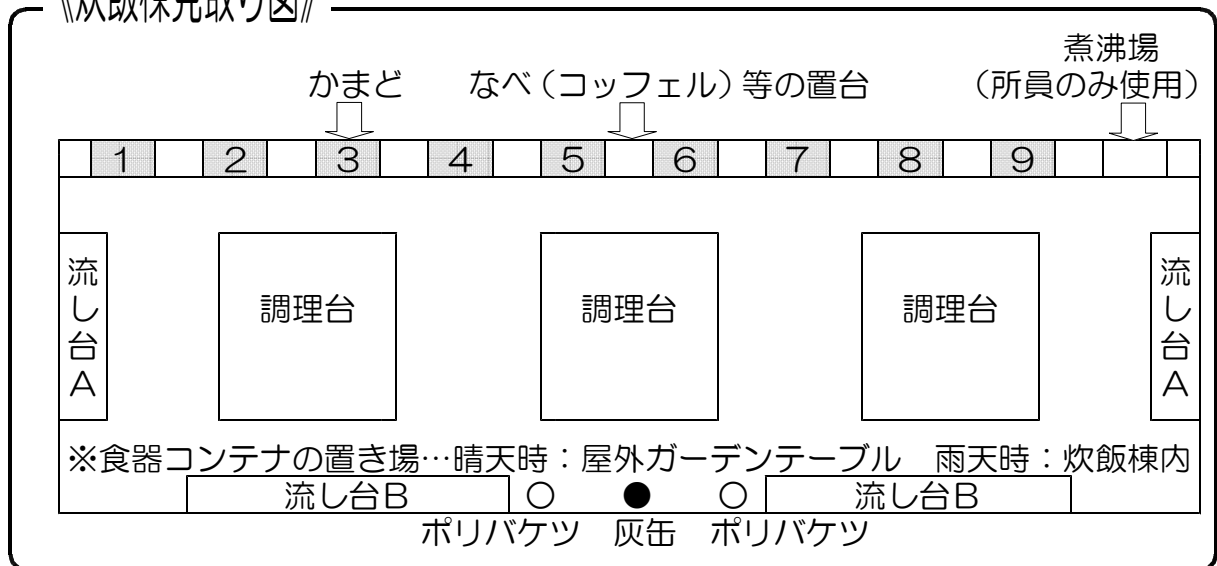
- 組立テントを一カ所に集めた「テント村」を設営することが可能です。
- 設営場所はグラウンドです。本部や避難所になる「別館」が目の前にあります。
- 他団体の活動と調整が必要になります。利用申請時に申し出てください。



(3) 炊飯棟について



《炊飯棟見取り図》



①かまどの使い方



②洗い上げの際の注意

※節水を心掛けましょう。

○ 流し台は2種類あり、それぞれ洗うことができる物が違います。

→流し台A…なべ(コップェル)を洗う場所

備え付けのナイロンたわし・亀の子たわし・ステンレスたわしを使用

→流し台B…食器・湯飲み・まな板など

スポンジたわしを使用

③火の後始末

○ かまどにくべた薪は、完全に燃やしきってください。

○ 燃やしきってできた灰は「灰缶」に入れ、必ず水をかけてください。

※ 活動プログラムガイドブック「返納点検」ページ(P11)を参照してください。

④ごみの処理 ※詳細はP. 36「Ⅶ ごみの処理」参照

- ・ 炊飯棟には2つのポリバケツが常備されてます。分別し「生ごみ」「それ以外のごみ」のそれぞれのポリバケツに入れてください。
- ・ すべてのごみは、水気をよく切ってください。少量の場合、袋を1つにまとめてください。
- ・ 燃えるごみは、かまどで焼却しないでください。

(4) 山荘について

- ① 利用者は、原則指導者です。
- ② 利用を希望する場合、事前の打ち合わせにて所員に申し出てください。
- ③ 解錠と施錠は、所員が行います。
- ④ 山荘には炊具庫が隣接されています。
- ⑤ 朝食炊飯で炊具庫にある用具が必要な場合、前日の夕方打ち合わせ時に宿直担当所員に申し出てください。所員が炊具庫を朝食炊飯前に開錠します。



〈第1山荘（奥が炊具庫）〉



〈山荘の内部〉



〈炊具庫の内部〉

(5) シャワー棟について ※キャンプ場利用団体の入浴は、原則シャワー棟です。

- ① 本館の風呂を希望する場合、事前の打ち合わせにて所員に申し出て下さい。なお、本館風呂は宿泊棟利用団体が優先になります。
- ② 解錠と施錠とスイッチのON・OFFは、所員が行います。
- ③ シャワーは冷水と温水に分かれています。
給湯設備付き温水シャワー
→第1キャンプ場内のシャワー棟（男子用3カ所・女子用3カ所）
別館内のシャワー室（男女兼用3カ所）



〈キャンプ場内のシャワー棟〉



〈シャワー棟の内部〉



〈別館シャワー室〉

(6) 退営時の留意事項

- ① 炊飯活動を行った場合、必ず利用者全員と所員で「返納点検」を行います。これは、次に活動する団体にとって気持ちよく利用できる様、元の状態に戻す作業です。
→詳細は「活動プログラムガイドブックP. 10～11」参照
- ② 使用したテントやその周辺は必ず清掃を行い、元の状態に戻してください。
- ③ 施設や物品を破損したり、物品を紛失したりした場合は、速やかに事務室所員まで申し出てください。

VII ごみの処理

1 持ち込んで出たごみ

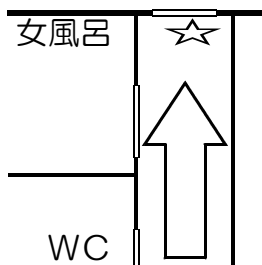
お持ち帰りください。

- ※ 持参弁当で出たごみも、活動で出たごみも、持ち込んで出たごみはすべてお持ち帰りください。
- ※ 食材の持ち込みは食品衛生管理上、一切認められていません。加工品であっても所長の許可が必要となります。事前の打ち合わせ時に相談してください。

2 (宿泊棟・本館・別館での) 清掃時に出たごみ

本館風呂前のごみ箱に捨ててください。

- ※ 清掃で出たごみのみ受け付けます。宿泊棟内のごみ箱にある黒色のビニール袋にごみを入れ、本館のごみ箱に捨ててください。



〈お風呂場の廊下を進んだ先にごみ箱があります。〉

3 食堂から購入して出たごみ

分別して食堂へお持ちください。

- ※ 購入物にごみ袋を付けてお渡しします。下記のように分別して回収し、ごみ袋を食堂へお持ちください。
→分別ごみの種類…①生ごみ・燃えるごみ・牛乳パック・ストロー
②プラスチックごみ
③ペットボトル
※ペットボトルのキャップとフィルムは取り除いて、プラスチックごみに入れてください。
- ※ 上記以外でのお問い合わせは、受け取りの際、食堂に確認してください。

4 炊飯活動で出たごみ

返納点検までに分別してください。

- ※ 食材を食堂で購入していただくことが原則です。
- ※ 炊飯活動で出たごみは、「生ごみ」と「その他のごみ」とで分別しておいてください。返納点検後、所員が受け取り処分します。前ページ (P.35) 「④ごみの処理」参照

物品注文書

団体名(名称)	
代表者氏名(注文責任者)	
利用日	()月()日()~()月()日()…()泊()日

① キャンプファイヤー

品名	規格	単価	数量	金額	確認
ファイヤー用薪Aセット	丸太(太) × 4本 丸太(細) × 8本 枝束 × 4束 燃料用薪 × 1ケース 灯油 × 2L	5,000円	セット	円	
※約120分間用					
Bセット	丸太(細) × 12本 枝束 × 3束 燃料用薪 × 1ケース 灯油 × 2L	4,000円	セット	円	
※約90分間用					
Cセット	丸太(細) × 6本 枝束 × 2束 燃料用薪 × 半ケース 灯油 × 1L	2,500円	セット	円	
※約50分間用					
バラ売り	丸太(太) × 1本 (細) × 1本 枝束 × 1束 燃料用束 × 1ケース トーチ棒 × 1本 トーチ棒 × 1本 (二重巻き)	200円 150円 500円 1,200円 200円 250円	本 本 束 ケース 本 本	円 円 円 円 円 円	
ファイヤー場 [メイン ・ B]			合計 [] 円		

② キャンドルのつどい [雨天時実施・天候関係なし]

品名	規格	単価	数量	金額	確認
ろうそく燭台用	大X1・中X14 ※レンタル→要返却	600円	セット	円	
個人用	小10本1セット ※販売扱い	50円	セット	円	
会場 [本館体育室 ・ 別館多目的ホール]			合計 [] 円		

③ 炊飯

月 / 日 ~ 月 / 日	炊飯棟	かまど数	実施回数	実施かまど数
/ / ~ / /	A			
/ / ~ / /	B			
/ / ~ / /	C			
/ / ~ / /	D			
/ / ~ / /	E			
/ / ~ / /	F			
/ / ~ / /	G			
炊飯薪1かまど400円 × 実施かまど総数 [] = 合計 [] 円				

④ クラフト

活動名	材料費単価	購入数	金額	確認
(雨天時・天候関係なし)	円		円	
(雨天時・天候関係なし)	円		円	
会場 [本館 (体 ・ 才) ・ 別館 (小 ・ 大) ・ その他 ()]			合計 [] 円	

物品借用書

団体名(名称)	
代表者氏名(借用責任者)	
利用日	()月()日()~()月()日()…()泊()日

下記物品について、責任をもって借用致します。尚、破損や紛失等の場合は賠償致します。 借用責任者

	物品名	借用数	使用日	
炊飯活動	炊飯セット (1セット=8人分) ☐しゃもじ ×1 ☐おたま ×1 ☐ざる ×1 ☐ボール ×1 ☐湯のみ ×8 ☐カレー皿 ×8 ☐スポンジたわし×2 ☐コップエル(なべ大小)×各1	セット	/ ~ /	
キャンプファイヤー・キャンプのついで	火の神セット ☐火の神衣装×1人分 セット内容☐天狗お面 ☐腰ひも ☐木の杖 ☐白装束 ☐うちわ ☐チャッカマン ☐巫女 衣装×2人分 セット内容☐冠 ☐腰ひも ☐白装束	セット	/ ~ /	
	音響機器	マイクアンプセット ☐マイク ☐アンプ ※CDやカセットテープ、Bluetooth 等の音楽出力は非対応です。		セット
		延長コード		個
		カセット・CDラジカセ ※利用団体で準備してください。		
野外活動	無線機 (トランシーバー) 親機使用 ☐ 現有数…☐親機×1台 ☐子機×14台	子機 台	活動名〔 〕 /	
	※他団体も使用の際は、台数を調整します。 ※活動後は速やかに返却してください。 ※指導者間の連絡用として使用できません。 ※チャンネルは情報共有のため、同日利用団体で共有します。	子機 台	活動名〔 〕 /	
		子機 台	活動名〔 〕 /	
その他	プロジェクター〔 〕 ・ DVDプレイヤー〔 〕		/ ~ /	
	方箕…国旗〔 〕 市旗〔 〕 所旗〔 〕		/ ~ /	

利用人数確認表

団体名（名称）	
代表者氏名（責任者）	

利用日	()月()日()～()月()日()…()泊()日
区分	[] 圏内 … 浜松市・湖西市 [] 圏外 … 浜松市・湖西市以外 ※どちらかの [] に○

1
利用人数

《利用者数》							《宿泊場所》													
宿泊者区分	宿泊			日帰り			少年自然の家（宿泊棟）					キャンプ場（テント）								
	男子	女子	小計	男子	女子	小計	棟名	1の部屋（男）	2の部屋（女）	指導者		小計	場名	男子	女子	指導者		山荘	小計	
1の部屋（男）	2の部屋（女）	男	女	場名	男子	女子				男	女									
幼児（年少～長）							ひよどり						第1	A						
小学生							やまがら							B						
中学生							うぐいす							C						
高校生							ほおじろ						第2	D						
一般							きじばと							第3						
指導者							本館・別館 指導者室						第4							
合計							合計						合計							

※ 所員記入欄

1日目 備考

2日目 備考

利用団体 から かなな野外活動センターへ《備考》

※ えんぴつで記入し、入所当日の受付時に提出してください。

2
発達学級

《利用者数》							《宿泊場所》												
宿泊者区分	宿泊			日帰り			少年自然の家（宿泊棟）					キャンプ場（テント）							
	男子	女子	小計	男子	女子	小計	棟名	1の部屋（男）	2の部屋（女）	指導者		小計	場名	男子	女子	指導者		山荘	小計
1の部屋（男）	2の部屋（女）	男	女	場名	男子	女子				男	女								
小学生							ひよどり						第1	A					
中学生							やまがら							B					
							うぐいす							C					
							ほおじろ						第2	D					
							きじばと							第3					
							本館・別館 指導者室						第4						
							合計						合計						

※発達学級を別会計にする場合のみ、上記の《利用者数》に発達学級の人数を含めず別に記入してください。《宿泊場所》には、宿泊する全ての人数を記入してください。

「浜松市かわな野外活動センター 利用の手引き」

編集 浜松市かわな野外活動センター
発行 浜松市かわな野外活動センター
〒431-2202
静岡県浜松市北区引佐町川名455番地の5
TEL (053) 544-0219
FAX (053) 544-0210
E-MAIL kawana@hamamatsu-sports.or.jp

かわな野外活動センター

検索

